



平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月27日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3632 URL http://corp.gree.net/jp/ja/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員 (氏名) 秋山 仁 TEL 03-5770-9500
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	58,946	27.8	7,814	39.8	8,393	16.8	5,779	△59.5
29年6月期第3四半期	46,135	△15.0	5,590	△53.5	7,186	△35.2	14,267	124.0

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 5,973百万円 (△46.7%) 29年6月期第3四半期 11,198百万円 (57.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	24.57	24.50
29年6月期第3四半期	60.80	60.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	126,044	113,688	89.9
29年6月期	122,954	109,883	89.2

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 113,328百万円 29年6月期 109,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成30年6月期の配当金につきましては、現在未定です。開示が可能になった時点で、速やかにお知らせ致します。

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	18.6	10,000	25.0	10,500	4.6	7,000	△42.2	29.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期3Q	241,997,400株	29年6月期	241,889,880株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	6,558,781株	29年6月期	6,776,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期3Q	235,268,088株	29年6月期3Q	234,674,382株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口が所有する当社株式（30年6月期第3四半期：1,919,503株、29年6月期：850,679株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関して

上記の予想は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付書類）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 配当予想金額に関して

平成30年6月期の配当金額は未定であります。決定次第速やかに開示致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国における個人のスマートフォン保有率が前年比3.7ポイント増の56.8%（出典：総務省「平成28年通信利用動向調査の結果」）と伸びるとともに、国内のスマートフォンゲームの市場規模も平成28年が前年比4.4%増の9,690億円（出典：カドカワ株式会社「ファミ通ゲーム白書2017」）と引続き伸びていますが、成長速度は緩やかになっております。

このような事業環境の下、当第3四半期連結累計期間において、主力のゲーム・エンタメ事業はスマートフォン向けゲームアプリ（以下、「モバイルゲーム」）の運営強化及び海外展開に力を入れてきました。また新規タイトルの開発及びリリースも順調に進めることができました。その結果、コイン消費はウェブゲームが減少したもののモバイルゲームの増加が上回り、前年同期比で増加致しました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高58,946百万円（前年同期比27.8%増）、営業利益7,814百万円（同39.8%増）、経常利益8,393百万円（同16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益（以下、「四半期純利益」）5,779百万円（同59.5%減）となっております。また、四半期純利益が前年同期比で減少したのは、前第1四半期連結会計期間において子会社売却等に伴う特別利益及び税効果の影響があったことで前第3四半期連結累計期間の四半期純利益が14,267百万円となったためであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は126,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,089百万円増加致しました。流動資産は98,484百万円（前連結会計年度末比2,029百万円増）となりました。主な増加要因は「現金及び預金」が3,419百万円増加したことによるものであります。固定資産は27,560百万円（同1,060百万円増）となりました。主な増加要因は「投資有価証券」が1,761百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては12,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ715百万円減少致しました。流動負債は11,711百万円（同783百万円減）となりました。主な減少要因は「事業再編損失引当金」が1,701百万円減少したことによるものであります。固定負債は644百万円（同68百万円増）となりました。主な増加要因は「その他」が68百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては113,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,805百万円増加致しました。主な増加要因は「利益剰余金」が3,090百万円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前連結会計年度末89.2%に対し、当第3四半期連結会計期間末は89.9%と0.7ポイント増加しております。また、支払い能力を示す流動比率は、前連結会計年度末772.0%に対し、当第3四半期連結会計期間末は841.0%と69.0ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、引き続きモバイル向けのコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大及び収益基盤の確立・強化に取り組んで参ります。また、生産性及び効率性を重視した経営基盤の強化にも取り組んでいく計画であります。

連結業績見通しにつきましては、平成30年6月期第3四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向を踏まえ、平成30年6月期第4四半期（累計）の売上高77,500百万円、営業利益10,000百万円、経常利益10,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益7,000百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,382	85,801
売掛金	7,071	6,314
繰延税金資産	3,163	3,163
未収入金	1,962	1,276
その他	1,907	1,935
貸倒引当金	△32	△7
流動資産合計	96,455	98,484
固定資産		
有形固定資産	1,130	1,301
無形固定資産		
のれん	3,920	3,290
その他	576	308
無形固定資産合計	4,496	3,599
投資その他の資産		
投資有価証券	13,871	15,633
繰延税金資産	3,931	3,881
その他	3,293	3,356
貸倒引当金	△224	△212
投資その他の資産合計	20,872	22,659
固定資産合計	26,499	27,560
資産合計	122,954	126,044
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	1,442	1,874
賞与引当金	840	301
未払金	6,328	6,391
事業再編損失引当金	1,701	-
その他	2,181	3,144
流動負債合計	12,494	11,711
固定負債		
その他	576	644
固定負債合計	576	644
負債合計	13,071	12,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,334	2,339
資本剰余金	2,332	2,337
利益剰余金	111,533	114,624
自己株式	△6,229	△5,853
株主資本合計	109,972	113,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	252
為替換算調整勘定	△576	△372
その他の包括利益累計額合計	△313	△119
新株予約権	224	360
純資産合計	109,883	113,688
負債純資産合計	122,954	126,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	46,135	58,946
売上原価	15,377	22,876
売上総利益	30,757	36,069
販売費及び一般管理費	25,167	28,254
営業利益	5,590	7,814
営業外収益		
受取利息	12	16
受取配当金	-	319
為替差益	1,177	-
投資事業組合運用益	-	783
その他	563	23
営業外収益合計	1,754	1,143
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	-	562
投資事業組合運用損	151	-
その他	5	1
営業外費用合計	157	564
経常利益	7,186	8,393
特別利益		
投資有価証券売却益	1,885	-
関係会社株式売却益	626	207
為替換算調整勘定取崩益	2,028	-
固定資産売却益	-	100
その他	203	-
特別利益合計	4,743	307
特別損失		
固定資産除却損	16	1
投資有価証券評価損	75	32
組織再編費用	622	-
事業再編損失	-	184
その他	21	-
特別損失合計	735	218
税金等調整前四半期純利益	11,193	8,482
法人税等	△3,073	2,702
四半期純利益	14,267	5,779
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,267	5,779

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	14,267	5,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△413	△10
為替換算調整勘定	△2,655	204
その他の包括利益合計	△3,069	193
四半期包括利益	11,198	5,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,198	5,973
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社レッスンプスは清算終了したため、連結の範囲から除いております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、アウモ株式会社は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。